

川棚小だより

学校教育目標

活力を持った思いやりのある子どもの育成

キャッチフレーズ 『笑顔で登校 満足して下校』

第6号 h 29. 6. 28 文責 山口 厚

心を見つめる教育週間

川小わいわい集会 23日(金)

縦割り活動の一つです。各自名刺を数枚作成し、自己紹介しながらお互いに渡していきます。名刺がなくなるまで続け、その後、各縦割り班で、6年生が、各グループに読み聞かせをします。縦割りの絆が深まっていくことと思います。



安心安全教室 23日(金)

ALSOKの方々に、1年生に安心安全教室を開いていただきました。知らない人に注意する「いかのおすし」をわかりやすく教えてもらいました。子どもたちは、やはり見かけで判断する子が多く、「知らない人」と言葉だけでは、だめだなあと改めて感じました。

クジラっ子の読み語り 26日(月)

「つんのうで」という東彼杵町の民話をもとに写真のような形で、読み語りをしていただきました。今年で、3回目となり、子どもたちもよく覚えているようで、今年も楽しみにしていたようです。とっても良く聞いていました。



命の講話 27日(火)

まつお産婦人科院長 松尾 剛先生に御来校いただき、「いのちの大切さ」という演題で、お話をしていただきました。

先生のお話の中で、「お母さんの体から新しい命がうまれたとき、みんな笑顔になり、よろこびます。」「産まれてすぐ、どんなに泣いていても、お母さんの胸の上で、抱かれると泣き止むんです。」というお話が印象的でした。



学校便り 5号で、3年生の工事現場見学について掲載していました。3年生がお礼の手紙を書きました。みんな良く書けていました。たくさん紹介したいのですが、各学級1人ずつ紹介します。

工事現場のみなさんへ

今日は、ありがとうございました。わたしが、おどろいたことや楽しかったことは、高所作業車にのったことです。ドローンを見るのは2回目です。だから、「ここにもドローンがあるんだ」と思いました。

楽しかったことは3つあります。

1つ目は、コンクリートを作ったこと

2つ目は、ぼうえんきょうで見れたことです。

3つ目は、高所作業車がとっても楽しかったことです。

これからも、がんばってください。

川棚小学校 3年 みお



工事現場のみなさんへ

今日はいろいろなことを教えてくださってありがとうございました。知らないことの教えてくださって、ありがとうございます。工事現場で作業をしたり、これは、これこれなんだよとか、聞いたり、したりするのは、はじめてでした。

すごく、こんなふうに、工事をしているなんて思いませんでした。こんな仕事を、すごいなあと思いました。

みなさん、仕事、がんばってください。ありがとうございました。

川棚小学校3年 そうたろう



～フレイクタイム～(お気軽にお読みください)

先日、いつものように役場前で登校してくる子どもたちを見ていると、いつもは元気な男の子が、泣き顔で歩いていました。一緒に歩いている川小応援団の方に尋ねると、「登校中に転んだ」という話。でも、足には絆創膏が貼ってあります。さらに尋ねると「私が黄色いベストに入れて、いつも携帯している」とのことでした。そこまでしていただいているのに驚くと同時に感激しました。この方ばかりではありません。重い溝蓋がある側溝に名札を落とした子どものために、子どもが登校したあとに一生懸命とっていただき、学校に名札をわざわざ届けていただいた方もいらっしゃいます。また、登校中看板に頭をぶつける子どもがいたので、安全のためにお店の方に相談に行き、看板を撤去してもらった応援団の方もいらっしゃいました。歩くのが遅い子どものために一緒に歩いてくださる方もいらっしゃいます。本当に、子どものことを大切に思っている方ばかりです。

暑い日も寒い日も、雨の日も毎日、応援団の方々、川棚小学校の子どもたちの安全を見守っていただいています。本当に感謝！感謝！の毎日です。

